

視点の先の未来を見つめて a-view

2015
SUMMER
Vol.456

[ナビュー] Nichiha across the view

平成27年7月6日発行

建築家 青木 茂

再生建築を次世代に

Contents

02 | 建築家 青木 茂 再生建築を次世代に 10 | 新商品紹介 15 | カーボン・オフセットで森を守る。 18 | Topics & More

建築家 青木 茂

再生建築を次世代に

過去と未来をつなぐ
リファイニング建築



阪神淡路大震災で被災した築35年の5階建て建物、築40年を過ぎた廃墟同然だった旧官舎、築100年を超えた木造住宅、築80年を超える帝冠様式の近代建築の区役所...青木茂氏によるリファイニング建築で再生を果たした二例である。70棟におよぶリファイニング建築の実績は、個人住宅、集合住宅、オフィス、店舗、福祉施設、医療施設、文化、教育施設、公共建築物等、その用途もさまざま。

「主に築40年を経たRC造を対象としているというリファイニング建築は、リフォームやリノベーションとは一線を画す。不要な部分を撤去、軽量化を図った上で既存躯体を再利用し、補修、補強を加え、耐震性能、内外装、設備用途を一新する。青木氏が考

案、実践を積み重ねて確立した建築手法だ。現在の日本の住宅ストック数は、6063万戸(空き家220万戸を含む)。その内、築35年を超える住宅ストック数は約30%を占める。また、築後30年超のマンションは約150万戸あり、10年後には約2倍に増加するとの推計もある。一方、庁施設では、築後30年以上の延べ面積が約42%にのぼる。公立の小中学校においては、築30年以上の建物が、保有面積の約6割を占め、老朽化が進行している。

今後、これら長い間使いつづけてきた建物はどうなっていくのであろうか。十数年前であれば簡単に取り壊されていたであろう建物も、今や、環境面はもちろん、新築中心か

ら軸足を移すことが求められている社会的要請という点においても、ストックをいかに活用するかという考え方に移行しており、容易にスクラップ&ビルドすることは困難な状況ともいえる。

こうした現状から振り返ること29年前。まだリノベーションという言葉もなかった時代に、行政制度への対応方法を模索しつつ、刻々と変わる建築法規に則してリファイニング建築に取り組み、毎回異なる障壁を正反面突破して乗り越え、独自の再生手法を積み上げてこれた青木茂氏。お話しは、そうした苦悩を感じさせない、笑いの絶えないインタビューとなった。

【青木茂氏プロフィール】
1948年大分県生まれ。首都大学東京特任教授。青木茂建築工房代表取締役。2011年大連理工大学客員教授就任。博士(工学)。
約29年にわたり、独自に再生建築の定義を確立し「リファイニング建築」という名称で再生建築に取り組んでいる。「リファイニング建築」は従来行われていた「リフォーム」「コンバージョン」「大規模修繕」などは大きく異なり、建設当時の機能を失いつつある既存建物を再生し有効活用する手法として、単なる短期的な耐震改修のみでなく長期的視点に立ち、付加価値を付けて新築同等の価値に再生させる手法である。2011年に受賞した日本建築学会賞。2012年2月に受賞した日本建築防災協会耐震改修優良者賞理事長賞はその実績が認められたものである。現在は、首都大学東京特任教授、大連理工大学客員教授を務め、「リファイニング建築」の考え方を表す団地や都市の再生の手法に取り込んだ提案などに積極的に取り組んでいる。
受賞に日本建築学会賞・業績賞(2001)BELCA賞(2001)JIA環境建築賞(2000)エコビルド賞(2002)グッドデザイン賞特別賞(1999,2010)GREEN GOOD DESIGN AWARD(2009)福岡市都市圏建築賞・連続受賞(2005,2006)千葉市優秀建築賞(2009)兵庫県知事賞(2010)JFMA賞(2010)日本建築防災協会耐震改修優良者賞理事長賞(2012)日本建築防災協会耐震改修優良建築賞(2013,2014)など。
著書に「リファイニングシティ×マンション」(「団地もリファイニングしよう。」)など。
株式会社青木茂建築工房 連絡先
東京事務所 TEL03-5789-0488 / 福岡事務所 TEL092-741-8840 / 大分事務所 TEL097-552-9777
E-mail: tokyo@kokou.jp

西欧の再生建築への出口

リファイニング建築をはじめたきっかけについてお聞かせください。

33年前になりますが当時「新建築」で年2回開催していた建築ツアーがありまして、安藤忠雄さんが講師のヨーロッパの建築を巡るツアーに参加しました。ツアーのタイトルが「僕は2度ほど海外に飛び出す」という。格好いいでしょ。北イタリアのヴェローナという町で、カルロスカルバ設計の「カステルヴェッキオ」というロミオとジュリエットが舞台になったロマンチックなお城を美術館に再生した建物に出会いました。それを見た時に「こんな古い建物を再生した建築をつくってみたい」と。

この旅の出会いが元々のきっかけでしたが、それからしばらくして、大分県佐伯市にある海軍の古い軍事施設の再生に携わり、ちうと手応えを感じたわけです。新築主流の時代でしたから、再生建築は5年に1件、という感じでしたね。

最大の転機は42歳の時。パブルがはじめて仕事が一挙になくなったことです。その頃から意識的に勉強を始めました。最初に手がけた、3の物件で、ヨーロッパと日本の建築法規の大きな違いを実感しました。そこで、建築の法規と再生建築の調査構成みたいなものを考え、いろいろも解いていくわけです。結果的にこれが良かった。周りをみると、建築基準法に当てはまらなかったりやついている事例が多かった。でも僕は今の法規にどうやったらうまくいく

か、そこに興味があった。

で、僕は梁や柱、床など、一度スケルトン状態にしてから、仕上げと設備をつくり上げるやり方。全部やり直すのが当たり前と思っていたので、ある建築家に「青木さんみたいな方法もあるよね」なんて言われて逆にびっくりしました。「えっ?」なんて方法があるの?」って。

それで考えをみると、他の人と僕がやっていたこととどうも違うと思う点は、既存建物に対する都市計画法、建築基準法の遵守をまず第一に考えていることかな。構造の調査をして現行法規に適合するまで構造補強を行い、同時に設備の一新、デザインの向上を図る。そうした一連の過程を「家歴史」に記録することで、現状の建物の違法性や構造躯体の信頼性を明確にすることができると考えました。

再生にノウハウを蓄積

リファイニング建築の定義、特長についてお聞かせください。

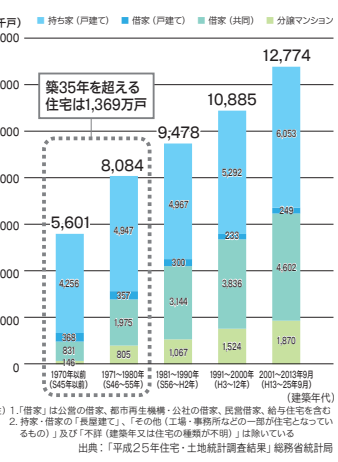
- 当初から次の5つを「リファイニング建築の5原則」としています。
- ①用途変更ができる。
 - ②耐震補強を行い、現行の耐震基準を上げる。
 - ③意匠的に新築と同等になる。
 - ④新築に比べてコストを60〜70%に抑えられる。
 - ⑤CO₂排出削減できる環境にやさしい建築である。

①用途変更が可能

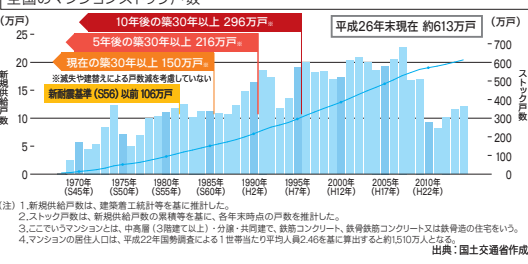
廃墟となっていた旧国鉄の寄宿舎を高齢者施設(デイサービス+高齢者向け優良賃貸施設)へリファイニングを行った福岡県田川市の田川後藤寺クラ園は、建設当時の目的に合わなくなったスペースを再生した事例です。また、歴史を受け継いでいく用途変更もあります。昨年竣工した北九州市の戸畑区役所は、もともと戸畑市役所庁舎として1933年に建設され、5市合併、北九州市の発足後、2006年に区役所としての役目を終えましたが、これがこの度、築80年を超える近代建築として市民文化遺産保存のため、図書館に生まれ変わりました。僕はこの建物をこれから「100年生きていく建物」にしたいと思っています。大変意義深いリファイニング建築事例です。

建築年代別の住宅ストック総数

○現在の居住されている住宅ストック総数約5,210万戸(2013年(H25)時点)を建築年代別に見ると、1980年以前に建築された住宅ストック(築35年以上)は、1,369万戸(約30%)存在。
○借家(共同)及び分譲マンションの割合が増加してきている。



マンションの推移 マンションの供給戸数 全国のマンションストック戸数



② 耐震補強、耐震基準の向上

1981年以前に建設された建物は、大幅に構造耐力が足りないという判断されます。そのような建物は、既存躯体の主要構造部を残して、基本的に全て解体すれば軽量化ができ、比較的軽微な補強工事で、新耐震基準に合うレベルまで耐震性能を向上させることができます。

また、既存建物の構造状況は、丁寧に施工されているものから、コンクリートの圧縮強度が設計強度に到底及ばないものなど、さまざまです。

ですから、リファイニング建築では、既存躯体の施工精度・図面との照合、コンクリートの中性化やかぶり厚さ、鉄筋の探査など、あらゆる条件を精査しながら進めています。コンクリートの圧縮強度の平均が13.5kg/cm²を超えているかどうかという一応の目安としています。耐震性の向上ということで、プレースを付けて耐震補強は終わりということだと、例えば20年後には本体のコンクリートはポロポロでプレースだけが残った、というすくおかしなことになります。ただ耐震補強をやれば安心、というのは幻想に過ぎません。

戸畑の図書館も、建物を分析して、それに合わせた耐震方法を考えられています。建物つて簡単にいうと、常時、建物の自重、つまり「軸力」という垂直の力がかかっています。地震の時の横揺れ「水平力」といいますが、それを合わせて計算します。図書館では、既存の躯体には「軸力」を、新しい補強に「水平力」を、というので、構造の考え方を根本から考え直して方法を練りました。大変？ いやいや、そういうのが非常に面白かったですね。

「正面突破」 建築の信頼回復へ

リファイニング建築という取り組みは確立されたものではない。ここに至るまでに大変だったのでは？

そうですね。リファイニング建築では、「健全な建物にしたい」という思いから、新しく確認申請を出し、検査済証を取得しています。これにより既存建物のリファイニング後、新築とほぼ同じ評価を受けられるからです。

新しい確認申請を提出する条件として、「既存不適格※1」の証明が必要となります。既存不適格は新築時の確認申請書と検査済証があれば証明できますが、建物が古くてそういう書類が特に検査済証がない場合は、新しい確認申請を受け付けてもらえません。検査済証がない建物の「既存不適格」をどのように証明するかポイントとなり、建設時に適法であったことを何らかのかたちで証明しなければならぬわけです。この証明のために、建物を実測、鉄筋を調べ、復元図をつくり、耐震診断を行うという未知なる解決方法を模索しながら、大変な努力と費用を伴う事例を乗り越えてきました。

特に、2005年の姉齒事件以来、この検査済証の意義が大きく変わってしまいました。そもそも、40年以上も前の建物となると、検査済証を取得しているのは7割で、7割は取得していないんですね。公的融資を受ける時くらいには必要としたから、姉齒事件以前までは、検査済証はたいした意味は持っていなかったわけです。現に大分にある私の事務所もあり

③ 意匠的に新築と同等

躯体は再利用しますが、基本的に覆ってしまい、仕上げは全く新しい材料を使用するので、設計者・発注者の意図により新しい用途機能にふさわしいインテリア、外観にすることが可能です。デザインも新築と同様に新設できます。

通常、建築は必然的にその建設する場所に影響を受けますが、リファイニングの場合、面白いのは、既存の建物にも影響を受けることなく、敷地に何百通りもの建て方がある新築と大きく異なり、リファイニング建築では、既存する建物や築年数、そこに関わった人々の思いなどと対峙することから始まる。その建物の歴史性を読み取りながら、じっくりと向き合ううちにヒントがどんどん見えてくる。そうして建物の声を感じると、自ずと解答が見えてくる。それが新しい意匠につながる。アイデアが枯れることはないですね。

④ 新築に比べコストが60〜70%

補修・補強費用はもちろんかかりますが、既存躯体を再利用するので、解体工事費、産廃処理費、躯体を新設するコストは省くことができます。新築の工事費は躯体設備仕上げとだけ、三分の二で考えられ、リファイニング建築の場合は、躯体の工事費は必要ありませんから、新築の6〜7割で済むというわけです。

⑤ CO₂排出削減できる環境にやさしい建築

2003年に、東京大学清家剛研究室、首都大学東京角田誠研究室、東京理科大学真鍋恒博研究室の3研究室に頼んで、「福岡市西陵公民館」と集合住宅「イブセ都立大学」のふたつのリファイニング建築について、CO₂発生量の

ません。ところが現在、リファイニング建築をする際に確認申請を提出しようとする時、この価値のなかった検査済証があるかないかが大きな差となつてあらわれてくるのです。

あの一件以来、建築って性善説のほすがそうじゃない、非常にグレたというところになって、建築の信頼を回復させるために、ちゃんとした建物をつくらなければならぬという社会的ムードになってきました。結局「安全」というのは、工学的、力学的な安全、環境的、機能的な安全、消防法も含め今の基準に合致しないと成立しない。それをひたすらリファイニング建築という手法に立ち向かっていって、建築の信頼を勝ち得ることができたのではないかと考えています。

※1 既存不適格・建築時には適法に建てられた建築物であつて、その後法令の改正や都市計画変更等により現行法に對し不適格な部分が生じた建築物のことをいう。建築基準法は原則として着工時の法律に適合することを要求しているため、着工後に法令の改正など、新たな規制ができた際に生じるものである。そのまま使用していてもたまたま適法というわけではないが、増築や建替等を行う際には法令に適合するよう建築しなければならぬ。

未達成のプランが 今に生きる

これまで、70棟のリファイニング建築を手がけてきたなかで。

700棟ぐらい企画検討しての70棟です（笑）。ですが、できなかった700棟がノウハウになっています。例えば、オフィスビルを病院にするプランや、アパートをマンションにするプランなど、実現できなかった方が面白いプランだらけ。お金がかかったなどが理由だったりしますが、僕の仕事

調査をしていただいたことがあります。同規模のものを新築した場合に比べて、CO₂の発生量が83%削減できるという予想もしなかった結果が得られました。

リファイニング建築では、コンクリートや鉄骨など素材の生産と、輸送時におけるCO₂の発生量がゼロになることが、この大きな結果を出しました。

リファイニング建築事例(田川後藤寺サクラ園)



before

撮影/青木茂建築工房

1. 昭和40年頃に建設された旧国鉄寄宿舎は、廃墟のようになっていた。

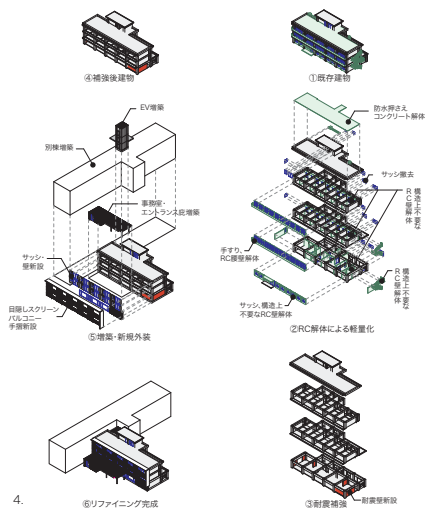
撮影/イメージグラム

2. 2009年6月竣工。高齢者向け優良賃貸住宅としてリファイニング。

撮影/イメージグラム

3. 既存棟の食堂スペース。

田川後藤寺サクラ園 リファイニングのダイアグラム



4. 既存棟部分には、10戸の住戸と共用の食堂を、事務室とエレベーターは既存建物面積の2分の1以内で増築した。その他の必要な20戸の住戸とサービス、浴室等の共用部分は、別棟として敷地西側に増築した。既存と増築部とは別棟となっている。



としてのストック、財産になれていると思います。中でも思い出されるのは、福岡での一番最初の賃貸集合住宅の仕事です。建築照明の会社の営業をされていた方と仲良くなり、自分の持っているマンションをどうにかできないかと相談を受けました。当初、新築かりファイニングかで迷われて、最終的にリファイニング建築を頼んでくださいました。建築内部をご存じな方だけに、僕に共鳴して任せられたのは、すごく思い出深いですね。

それから、公共建築も何度かさせてもらいましたが、戸畑区役所を図書館に再生した事例には特別な思いがあります。この建物は、再生できるのかスクラップ&ビルドした方がよいのか、議論があったようです。しかし歴史的な建物を残して、なおかつ使い続けたいということになって、コペではなく、随意契約で依頼がきました。先ほど僕は「この建物を100年生きていく建物にしたい」と言いましたが、100年使えるようにするには、耐震補強だけやってもダメなんです。僕はそのために、まず建設当時のオリジナルに戻し、増築部分を省き、空間プロポーションを見直してから補強方法を考えました。何を補修するか、どういう力を与要になるのです。

四つ目が、「コンクリートの中性化を抑えられる期間の算定」です。例えば、築30年であれば、その間のコンクリートの中性化の進行具合、鉄筋の本数、かぶり厚さの調査を行い、中性化を防ぐ方法を考慮して、融資する期間を決定します。

五つ目としては、青木茂建築工房が行うこと、としています。僕の事務所が行うことですが、技術やノウハウは公開していますので、興味のある方は是非ご連絡ください。僕はリファイニング建築が広がっていくことを期待していますから。今、よその事務所とコラボもしていますよ。そこはある自治体から発注を受け、声をかけてくれたわけですが、うちが基本設計向こうが実施設計と分担して、相互乗り入れで行っています。

また、国土交通省が昨年の7月2日付で「検査済証のない建築物に係る指定確認検査機関を活用した建築基準法適合状況調査のためのガイドライン」を公表しました。国の施策も前進しています。(ガイドラインによると、指定確認検査機関が「確認済証」を用いて図面上で調査を行い、書類がない場合は、復元図面を作成する。そしてガイドラインに沿った一定の現地調査を行った上で、報告書が作成されるという流れ。報告書は増改築時の「既存不適格調査」の添付資料として活用できる。)

人の育成と仕組みの転換がカギに

リファイニング建築は増えていますか？

えるかで設計も大きく異なります。戸畑地区は鉄鋼産業と共に発展した地区であったので、鋼材アーチフレームと最小限のRC耐震壁で補強しました。吹き抜けとトブライトを新たに設けて室内環境の改善も図りました。ヨーロッパで古い建物を上手にリノベーションしているのを33年前に見て、こういうことを日本でもできないかなあと思っていました。が、やっと思えました！

新築同等の融資が大規模な再生建築の後押しに

リファイニング建築において、金融機関から新築同等の融資も可能になったそうですね。

金融機関に認められたことは一番大きな意味があります。りそな銀行さんと1年半ほど勉強会をしてスキームをつくりました。現在、3行と業務提携しています。最長の融資で、築39年目の建物を再生して、40年のローンを組んだ事例もあります。融資の条件はつあります。

一つ目が、「確認申請」の提出。二つ目が、「検査済証」の取得。この二つがあれば、法律上は新築と同じになります。

三つ目が、「家賃書」の作成です。耐震補強の工事やクラックの補修など、施工前、施工中、施工後全ての記録をとっています。小さな建物でも600箇所、戸畑の図書館は1万6000箇所くらいあります。自分の仕事に責任をもつために始めたことですが、施工の信頼性の担保となります。なにより、今後30〜40年後に、若いスタッフが二度目の再生をする際に、家賃書は重

うーん、それでも、まだまだ壊して建替えてしまうことは多いです。もちろんスクラップした方がいいケースもあります。例えば鉄骨などでサビが入ってしまつてボロボロのものなど。躯体を健全にするためのコストと新築するコストの比較をして、お金がかかるのであればやめた方がいいと思います。また収益物件などの場合は、単純に事業として捉えてみて、事業収支が合わなければ勧めません。

僕の事務所ではある程度の規模の収益物件の場合は、事業提案書をまとめています。例えば、入居率が8割と仮定して、20年のスパンで考えると、毎年の収入はこうなります、更にそのための資金はこの銀行が貸してくれま、という提案をオーナーに行います。新築よりもリファイニング建築はお金がかかりませんが、はるかに年間回りもいいし、事業としての成功率も高いはずですが、これまでのところ、説得しても、10人に1人くらいしか受け入れられない。

人の問題ですと、トータルに見ることができず人を養成していかないとダメかなという気がします。今の建築は、デザインを考える人、構造を考える人、設備など、全部細分化されてしまっています。僕は田舎にいて、全てトータルに考えてきたからできるのだと思います。細分化して見ると壊してしまわなくなります。

仕組みに関しては、相当変わってきました。国自体はストック活用に舵を切りました。完全に政策が変わっている。だつて、民間の建物に補助金を出す制度は以前はなかったたでしょう。しかしまだ国から地方には広がっていないですね。一般の理解や補助金制度を上手に活用できるようになると、スムーズに広

リファイニング建築事例 (北九州市立戸畑図書館)



表紙の写真。1階子ども図書館。ハイバウのライティングは、スカイツリーの照明を手がけた戸恒浩人氏のデザイン。
 5. 吹き抜けとしたエントランスホール。
 6. 写真は新規外観(2014年2月竣工)。旧庁舎のシンボルである塔屋部分や重厚なスクラッチタイル仕上げの外観を保存するため、外部ではなく、内部のみ耐震補強を施している。グッドデザイン賞(2014)、第27回福岡県美しいまちづくり建築賞優秀賞、平成26年度日本建築防災協会耐震改修優秀建築賞、第8回建築九州賞作品賞(2015)の各賞を受賞。
 7. アル・デコを思わせるデザインを取り入れた、2階アーチフレームより吹き抜け空間をのぞく。
 8. 元議場を活用した、2階一般閲覧室。開口部は元のまま、トブライトを新設し明るい空間に。外の景色に目が向くように椅子が設置されている。合わせ鏡を用いた不思議な空間は、磯崎 新氏へのオマージュ。

6. 撮影/青木茂建築工房 5. 撮影/上田宏

まっぴいと思いがすが、まだ自治体の理解が追いついていないのが現状です。学校ですと、新築よりストックに補助金を出す方に切り替えていきますが、うーん、まだこれからです。

自宅の再生で 見えたこと

2011年に竣工された自宅「YS BLD.」は、クライアントの立場を体験すべくトライされたこのことですが。

リファイニング建築の調査には数々の手間と費用がかかるのですが、多少の無理をしても僕の申し入れを受け入れてくれるクライアントを間近でみて、うちに、自分が実感してみなければクライアントの本当の苦勞は理解できないのではないかと考えようになりました。なにより、自分の技術で再生した建物に住んでみせれば、ちよとは安心してもらえらるのではないかと思たんです。そこで築40年の4階建てのビルを購入して、既存不適格の証明をし、確認申請を出しました。区から補助金をもらって、なおかつ、銀行から融資も受けました。

体験してみても、正直、設計事務所には腹が立ちますね(笑)。行政の対応とか。なんで理解されないのかワケです。そうし経験が生かされるかわかりませんが、クライアントの気持ちはよく理解できた。それに、うちは4階建てで、1階と2階を賃貸にして、そのあたりの相場よりは安い家賃ですが、おかげさまで、順調に借金も返していますから、事業の成果としては、上手くいっているんじゃないかな。

は超真面目ですよ仕事は。人生？それは、ここでお話してできませんよ(笑)。

それ、僕はよく「現場に行く、職人からものを習え」と言います。僕ら専門職って設計はできても現場は戦えないですよ。現場に行つて「お願いします」ときちんと挨拶をしないと、いい建築になりませんよ。建物への敬意、関わってきた人々への敬意、時間への敬意に加え、現場でつくる人への敬意がないと、仕事として、人として意味がないと思います。

「再生する今」は 未来への通過点

最後に、リファイニング建築のこれからについて、青木先生の思いをお聞かせください。

技術的なこともそうですが、長く使ってきたものに愛情を注ぐ、ということじゃないかと思えますね。僕がいつも言うのは「母のための家をつくれ」ということ。母親のための家だと考えると、「安全」に対しては絶対に手を抜きません。いろんなアイデアも浮かぶし、努力も惜しまない。そうやって純粋に建築に向き合わない、いい建物はできないと僕は思っています。

最初の頃、築100年の民家の仕事をいただいたことがあります。おばあさんから、いい建築だから残したいと言われた時が、ちよと福田内閣によつて200年建築が提唱された時代でした。今からつくった建築が200年もちますと言つても信じがたい。

人生は不真面目、 仕事は超真面目

次世代の育成という点ではどのように考えているのでしょうか？

後継者の育成については、自分なりに地道に行つています。事務所に博士課程に進んでいくスタッフもいますし、今後も増員したいと考えています。次の世代のスタッフが海外でも仕事ができるように、人脈づくりは意識していますね。

先日は、ロンドンの有名な建築大学、AAスクールと事務所であらわしなりました。最近韓国、中国、タイからのインターンシップも受け入れてます。今、サポートしている韓国や中国の留学生たちとよく話をしますが、彼らは意識が高いですよ。会話能力、表現力がありますし、将来のためにスキルを身に付けようという意欲がある。日本人の場合は国民性か、教育制度ゆえか、誰かが自分のことをわかってくれるという、どこか受け身の姿勢を感じます。夫婦でさえ主張しあわなきゃわからないにね(笑)。若者の安定志向、チャレンジ精神の欠如や異文化交流の少なさは、見ていて情けないと思います。今の若い人は、つて言つたら笑われちゃいますけど、人生は真面目、仕事は普通、そんな感じですよ。でも僕は「人生は不真面目、仕事は超真面目にやれ」と言っています。その方が楽しいんじゃない？。何もかも真面目じゃやつていけないし、どうも仕事も普通じゃつて、人生も普通つて。一体何なの？つて思つたりします。僕

も100年前の建築を再生してあと100年もつと言つたら、ちよとは騙されてもいい気になるでしょ(笑)。

誕生から今があつて、未来にどうするかということが重要で、そういうことを思うと、先人がつくつた思いというのがひしひしと伝わってくるんです。あくまで「再生する今」は未来への通過点。その通過点におけるお手伝いをしてる感じですよ。

戦後、どんな家が建つて、今も毎年何十万という家が建てられ続けています。今の時点で築40年の家が何軒もあつて、築39年、38年の家も来年、再来年には築40年になる。新築住宅と同じだけ中古住宅も増えているという当然の現実があつて、そこに目を向けないで、何か手を打たなければと思えますよな。

壊してつくり直している背景には、今あるものを残して変えようとする方が、壊して新築にするよりお金がかかるイメージがあるんですが、ちよと計算すれば、完全に安くなるのがわかるはず。パリのモデルはガリガリで格好いいつて皆思つてるけど、今はダメだしよ？あれと同じ(笑)。そういう固定されたイメージを覆すのは大変ですが、これまで手がけたリファイニング建築の実績はもちろん、セミナー、講演会、書籍を通じて、地道に、超真面目に取り組んでいきたいですね！

本日はありがとうございました。

リファイニング建築事例 (YS BLD.)



11.



撮影/上田宏 10.



before

9.

撮影/イメージグラム

9. 既存東面の外観。建築図書一式がなかったため、構造図、意匠図を復元した。
10. 青木茂氏の東京自宅「YS BLD.」の新規東面外観。グッドデザイン賞受賞(2012)。メゾネット住宅を利用した自然通風利用、外断熱と内断熱の両方を行う断熱改修、屋上緑化による遮熱効果を狙つた省エネ対策も施している。1-2階を賃貸としている。
11. 4階のリビング内観。



風雨にさらされて丸みを帯び、少しずつ変化した歴史を感じさせる表情のレンガが、これからも変わらぬ価値と成熟した安心感を醸します。

モエンエクセラード16



レスペンタル

サイズ: 16×455×1,820mm
5,184円/枚 (税抜4,800円/枚)
6,260円/㎡ (税抜5,796円/㎡)

GOOD DESIGN
AWARD 2014

EFF131E ライツホワイト



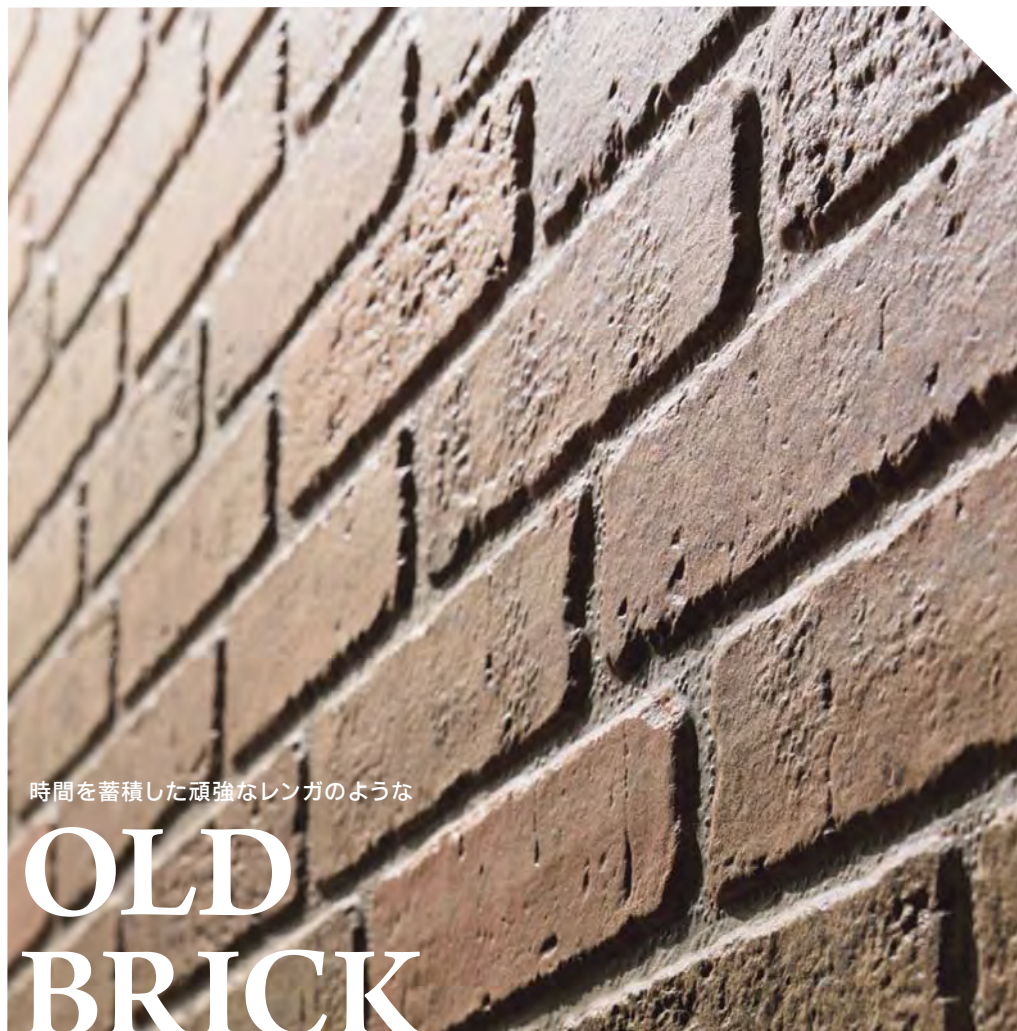
EFF132E ライツライトグレー



EFF133E ライツオレンジ



EFF134E ライツダークグレー



時間を蓄積した頑強なレンガのような

OLD BRICK

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。

EFF133E

モエンエクセラード

Fuge

フュージェ

に新柄登場!

メンテナンスコストから考える ロングライフ外壁。

シーリングレス®の「ドライジョイント工法」と超高耐候塗料の採用で
ロングメンテナンス化を実現。継ぎ目が目立たず外壁の美しさが際立ちます。
※換気口まわりなどシーリング目地が必要となる部位があります。



EFF123E

インテリアや家具で使われるような短いスパンの古材を外壁向けにモデル。
歳月を経て刻まれた表情が、アンティークな雰囲気を演出し個性的な外観を創ります。

モエンエクセラード16



モベルウッド

サイズ: 16×455×1,820mm
5,184円/枚 (税抜4,800円/枚)
6,260円/㎡ (税抜5,796円/㎡)

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。



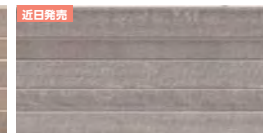
EFF121E モベルグレージュ



EFF122E モベルベージュ



EFF123E モベルブラウン



EFF124E

※本商品は近日発売となります。発売などにつきましては別途ご案内いたします。

少し荒れた木肌や石肌、石らしさを表現する積層痕をブレンド。不定形に折り重ねることで、塗り壁のような、石積みのような、木のような不思議な柄に仕上げました。



エコルセ

サイズ: 16×455×1,820mm
4,752円/枚 (税抜4,400円/枚)
5,738円/m² (税抜5,313円/m²)



EFF155F

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。



水平ラインを強調したボーダータイプ

STONE BORDER

EFF142F

繊細な石肌が織りなす端正な陰影は、多彩で飽きのこない意匠です。
ボックス型の住宅から和風まで幅広くお使いいただけます。



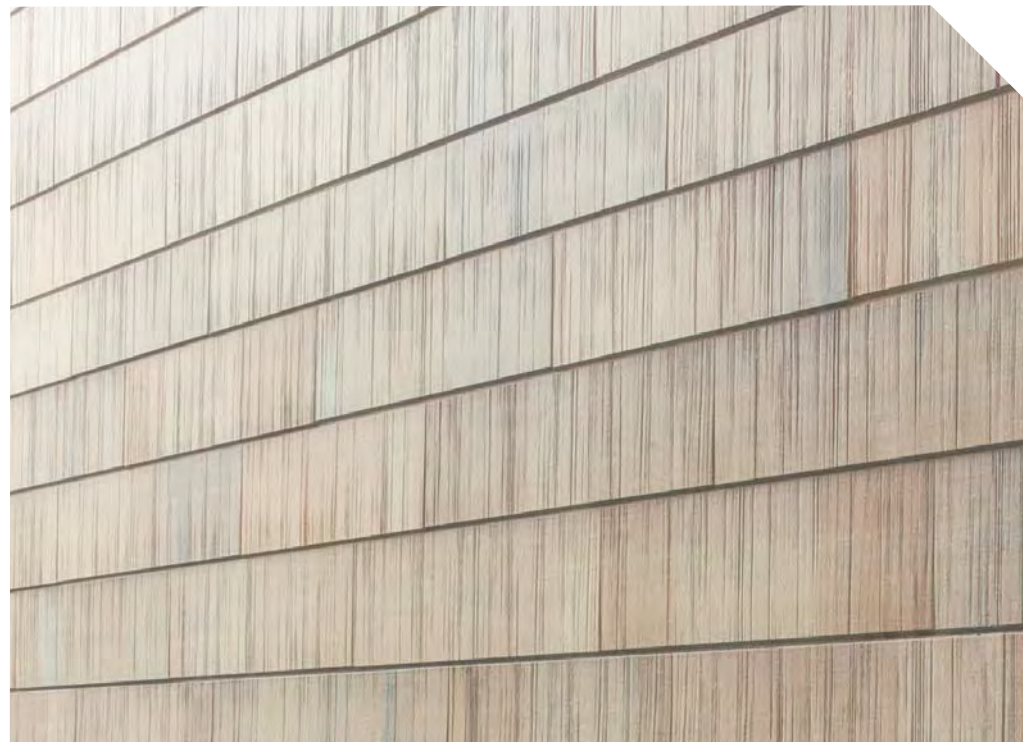
タンレビ

サイズ: 16×455×1,820mm
4,752円/枚 (税抜4,400円/枚)
5,738円/m² (税抜5,313円/m²)



EFF145F セスト MG ディープグレー

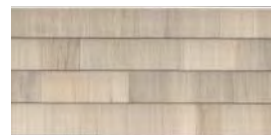
印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。



北米でポピュラーな外壁や屋根材をイメージ

WOOD SHAKE

EJB651E



EJB651E シュビネ MG アッシュ



EJB652E シュビネ MG ナチュラル



EJB653E シュビネ MG ブラウン

斧で手割した板をイメージし、横列の不揃い具合や歪な板面が特徴的です。ナチュラル感あふれる個性的なデザインです。

モリエクセレード16



ウッドシェイク

サイズ：16×455×3,030mm
8,208円/枚（税抜7,600円/枚）
5,954円/㎡（税抜5,513円/㎡）

印刷物のため実物の色柄と異なります。商品サンプル等でご確認ください。

カーボン・オフセットで森を守る。



自治体と企業のパートナーシップが築く
林業の再生

紀伊半島は大台ヶ原（吉野熊野国立公園）の東、奥伊勢に位置する三重県多気郡大台町。森林面積が総面積の約93%を占め、清流日本一に幾度となく輝く「級河川「宮川」は、町内を横断し、伊勢湾へと流れる。他の地方に違わず、過疎化や高齢化問題を抱え、林業の衰退が深刻な大台町が、数年前よりJ・VER制度を利用したカーボン・オフセットの取り組みにより、地域林業の活性化に乗り出している。

大台町では、福祉拠点施設の一部を担うメディアカルセンターを今年3月に竣工。町産材で仕上げられたその施設の外壁材と耐火野地板に、国産木材チップを原料としたCO₂固定機能を有する「ニチハのオフセットサイディング」が採用され、この度初めて、地方公共団体へ「CO₂固定量証明書」の贈呈が行われた。



「CO₂固定量証明書」贈呈式の模様。右：大台町 尾上武義町長。左：ニチハ㈱ 取締役上席執行役員 調査部長 吉田康則。「証明書はCO₂をどれだけ固定したかという数値よりも、環境貢献を実感していただくことが目的です」と話す吉田取締役。

歴史的背景にみる先進的な取り組み

「旧宮川村時代から、森林含め、環境保全に積極的な地域でありまして、平成10年頃には、環境条例もつくりました。キャンプ地の指定やごみのポイ捨て禁止、空き家・空き地の適正管理など、罰金つきの条例です。」お話しくださるのは、町長の尾上武義氏。大台町と宮川村が合併して、県内最大規模の大台町が誕生したのは平成18年。それよりも前、今から15〜16年前から、きれいな町、きれいな村をつくるための先進的な取り組みが行われてきたという。

町の基幹産業である林業に対して、後継者育成を目的に平成5年に第三セクター「フォレストファイターズ」を設立。県外からの人材確保を視野に入れ、会社組織とし労働条件を改善したことで、Iターン者も就業している。

「旧宮川村に山本泰助という村長がおりまして、山の荒廃が環境破壊や自然災害につながりかねないと、林業の活性化に立ち上がりました。また、その時手がけた宮川小学校の建設の際に、『国産材で建てよ』と公共施設の木造化を考えられて。残念ながら、乾燥が追いつかず、当時、宮川村から産出される木材は全体の木材量の15%ぐらいしかなかったわけですが、それができたら今の国産材使用の走りになったかもしれません（尾上町長）



「木を植えて、育てて、切って、また植えてという循環を取り戻していきたい」と尾上町長。

J・VER制度を活用し、地域振興に役立てる

分譲発注しております。尾上町長

大台町で産出される木材は、宮川森林組合を通じて、プレカット工場の株式会社MPSに納材され、そこから供給される仕組みだ。

長引く木材価格の低迷により、厳しい局面にあった大台町の林業に転機が訪れたのは、今から9年前。官学共同の勉強会において、J・VER制度*1・参画の有効性を知り、第一歩を踏み出すことになった。

「カーボン・オフセット*2に取組んでいく中で、本来、J・VER事業はどのような形になっていくのかがいいのだろうという葛藤がありました。お話しくださるのは、大台町役場 宮川総合支所 産業室室長の谷昌樹氏。「当初はオフセット・クレジット*3の創出側として、1tあたり少しでも高く売れば一番いいですし、それを地域林業の



報徳診療所
構造 木造（一部鉄骨造）平屋
延床 828.02㎡



「報徳診療所」。外壁にオフセットサイディングを使用。

「最近では、バイオマスがどうも先行して、本来の産業としての木の使い方を忘れてかけてきているのではないかと考えております」といいます。地域のおじいちゃんや軽トラにD材を積んで出してくる、というように、地域材の循環だけを考えて、D材・C材を活用したバイオマスポイラーについて検討はしております。僕はそれが福祉やと思っておるんですね。そうやって元気に体を動かすことによって、医者にかかることが少なくなるかもしれない。そういうことを考えながら、大台町の林業を考えていこうと奮闘しているところですよ」と谷昌樹氏。

積極的に森林整備を行っている大台町であるが、皆伐後の未造林地や台風など災害の影響で崩壊地が出てきているという。その対策として、大台町と宮川森林組合では、J・VERプロジェクトの一環として、森林立地評価に基づいた森林再生に取り組んでいる。立地によって育つ木の適性を調査し、杉や檜の人工林とするか、土砂崩れに強い山

地板によるCO₂の固定量は1万2千772kg・CO₂。30年生のヒノキ約90本分に相当する。「CO₂固定量証明書」が地方公共団体へ贈られるのは、国内初である。「国産木材チップを使用したオフセットサイディングを生産、普及することで、森林資源を守り、地球温暖化防止に貢献する」というニハさんの取り組みがうかがい、我々と同じ考えのもとで製品化されているニハさんの商品を是非使って、いこうとなりました。みやがわの施設長さんにも、オフセットサイディングやCO₂固定量の話を見せてもらって、理解をさせていただいた。行政としては、カーボン・オフセットの大切さを一人でも多くの方に知っていただくことが、本来の仕事だと思っています」（谷昌樹氏）

ニハは愛知県・岐阜県・三重県の原木提供者である森林組合と納入協定を結んでおり、特に三重県では昨年、大台町と連携を図り、宮川森林組合と納入協定を締結。すでに大台町の木材チップが納材されている。

※7 D材・C材
木材を品質（主に曲がりなどの形状）や用途によって分類する際の通称。基本的に、A材は製材、B材は集成材や合板、C材はチップや木質ボードに用いられる。D材は搬出されない林地残材などをいい、木質バ

「ニッポンの森を守る。」ニハの「エコ外壁」
木を切らなければ、森は守れない。矛盾しているようですが、本当のことです。木と木の間隔を保ち、陽光をまんべんなく届けるために行う「間伐」。木材として育てた木を採採する「主伐」。木を育て、適切に切り、新しい木を植える。そうすることで若い木がCO₂を盛んに吸収して、地球温暖化の防止につながります。ところが、国産木材の活用が進まないために適切な伐採が行われず、森の高齢化が問題に。「国産木材の利用を促進して、森を守りたい。」そんな思いから生まれたのが、国産木材チップを使用したニハの「オフセットサイディング」です。



「100%国産木材10セメント」ニハのオフセットサイディング

「ニハエコ外壁プロジェクト」の取り組みが、独自の強度向上、国産木材の利用推進による森林循環→地力増進・低炭素化等、国土強靱化に多角的に貢献する取り組みとして高い評価を受け、「第1回ジャパンレシリエンス・アワード(強靱化大賞)2015」優秀賞を受賞しました。
※「オフセットサイディング」や「カーボン・オフセットサイディング」の生産・普及を通じて、日本の森林資源を守り、地球温暖化防止に貢献する取り組みの総称が、「ニハエコ外壁プロジェクト」です。

※8 皆伐
林業における森林の伐採方法のひとつ。対象となる区画にある森林の樹木を全て伐採すること。

イオマエネルギーの燃料などとして利用することが期待されている。



「介護老人保健施設みやがわ」。屋根下地にセンチューリ耐火野地板を使用。オレンジ色の窓が美しいスバニッシュ風の洋風屋根は、大台町の公共施設に共通のデザインコードとなっている。(上)「介護老人保健施設みやがわ」の玄関ホール。町産材の杉で床、壁、天井を仕上げている。
介護老人保健施設みやがわ
構造 鉄骨造（一部RC造）2階建て
延床 4922.03㎡



大台町役場 宮川総合支所 産業室 室長 谷 昌樹氏。「保育園を建てた時は、園で使用する木を森で伐採するところを、園児たちに見学してもらいました」と谷氏。

振興に役立っているという考えだっただけですが、やっていく中で少し違うかなど、地球温暖化防止の二助ということが一番大きな目的なわけで、それを町民はじめ、いろいろな方々に知ってもらうことが一番大きな姿やないかと」（谷昌樹氏）

どのように地域振興に役立っているかを明らかにするため、J・VER制度によって得た資金は、特定財源「大台町自然との共生基金」に積み立て管理されている。その基金は、自然環境の整備保全、集落対策、生活環境の整備、地域の団体や人材育成、社会貢献活動への協力などの事業に還元される。

※1 J・VER制度（J・クレジット制度）
2008年11月に開始された環境省による認証制度。省エネルギー・機器の導入や森林経営などの取り組みによるCO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を信頼性の高い「クレジット」として認証する制度。2013年より、国内クレジット制度とJ・VER制度が発展的に統合されJ・クレジット制度となり、国により運営されている。

※2・3 カーボン・オフセット/オフセット・クレジット
企業などが排出するCO₂のうち、

どうしても削減できない分を他所のCO₂の削減量・吸収量を用いてオフセット（埋め合わせ）すること。企業は安易にオフセット・クレジットを購入するのではなく、自らCO₂の削減努力を行うことが大切で、それでも削減できなかった場合に、オフセット・クレジットによってカーボン・オフセットを行う。

福祉施設の外壁にオフセットサイディングを採用

大台町の福祉拠点施設「介護老人保健施設みやがわ」（以下みやがわ）と「報徳診療所」は、松阪市の株式会社北村組が建設工事を請け負い、計画から約2年、今年3月に竣工した。診療所は、入院を除く内科、外科、眼科の外来診療とリハビリ、訪問による診療を行う。みやがわは、リハビリを中心とした介護を受けながら在宅復帰を目指す施設で、入所定員は100名。町営の診療所に対し、みやがわは、社会福祉法人明合万里会が運営を行う。分離発注により供給された大台町産の木材量は、約250㎡、原木にしておよそ700㎡となる。両施設の木質内装仕上材材と診療所の構造材に使用している。

診療所の外壁の腰壁に、モエンエクセラード16 ピロネブリック調 ピロネMG ロースグレイIIを、モエンエクセラード16 フラットウォール 無塗装品と組み合わせ、ローウエストで張り分けている。みやがわには、屋根下地にセンチューリ耐火野地板18mmを施工。国産木材チップを使用した「ニハの「オフセットサイディング」であることが採用の決め手となった。外壁材と耐火野



間伐材の杉でつくった受水槽。強度もあり、衛生的にもいいそう。

NICHIHA SIDING AWARD 2015 開催中

本年もNICHIHA SIDING AWARD2015を開催いたします。
審査委員長にインテリアデザイナー、杉本貴志氏、建築家の難波和彦氏をお迎えし、ニチハ製品をご採用いただいた作品を審査いただきます。

杉本貴志



インテリアデザイナー。1973年(株)スーパーポテトを設立。商業空間のデザインを数多く手がけ、バー、レストラン、ホテルの内装デザインから複合施設の総合プロデュースまで幅広い分野で活躍。
1984、1985年毎日デザイン賞連続受賞。
2008年米紙InteriorDesign Magazineより「Hall of Fame Awards」を受賞。

難波和彦



建築家・東京大学名誉教授。放送大学客員教授。1977年一級建築士事務所(株)界工作舎を設立。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化・多様化・サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロトタイプとしてデザイン・開発を手がける。グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞、建築学会賞業績賞など多数受賞。

下記の応募要件で、設計事務所様、工務店様等の専門家向けとして実施いたします。

- 対象作品：弊社製品(金属製外装材含む)を外装あるいは内装に使用し、2014年8月以降に新築またはリフォームされた建築物。
締切日：2015年7月31日(金) ※当日消印有効
審査基準：ニチハ標準施工で、建て主様の意向に沿い、時流に合った外観デザインであること。また、周囲との調和や外構デザインにも配慮されている作品であるかについて、施工写真や設計要旨から判断のうえ審査します。
賞品：住宅部門、非住宅部門において、グランプリ、プラチナ賞、ゴールド賞をそれぞれ1点選出します。

住宅部門・非住宅部門	◆グランプリ	2点	30万円(旅行クーポン券)、建て主様に5万円(旅行クーポン券)
	◆プラチナ賞	2点	10万円(旅行クーポン券)、建て主様に3万円(旅行クーポン券)
	◆ゴールド賞	2点	5万円(旅行クーポン券)、建て主様に2万円(旅行クーポン券)
住宅部門・非住宅部門あわせて	◆入賞	10点	3万円(旅行クーポン券)、建て主様に1万円(旅行クーポン券)
	◆Fu-ge賞	数点	3万円(旅行クーポン券)、建て主様に1万円(旅行クーポン券)
	◆リフォーム賞	数点	3万円(旅行クーポン券)、建て主様に1万円(旅行クーポン券)

応募方法：専用の応募用紙を最寄りの弊社営業所からお取り寄せいただくか、ニチハHPよりダウンロードしてご応募ください。



省エネ住宅・リフォームのポイントのさらなるPRを 省エネ住宅・リフォームで最大30万円分のポイントが発行

ハウジングトリビュン 平澤和弘

今年の3月から「省エネ住宅ポイント制度」がスタートしている。エコ住宅やエコリフォームに対して商品券などと交換できるポイントが発行する制度で、一般消費者に対しても魅力ある制度だ。住宅・リフォームを手掛ける事業者にとっては、この制度活用がユーザーに対するさらなる魅力ある提案につながる。

「省エネ住宅ポイント制度」がスタートしている。一定の省エネ性能を備えた新築住宅の建設費や、省エネリフォームなどに対してポイントが発行される。このポイントは地域産品や商品券などと交換できる。

この制度は平成22年に「住宅エコポイント」としてスタート。20年からは「復興支援住宅エコポイント」として行われ、今回はその内容を拡充して実施されている。

ポイントが発行される対象は「エコ住宅」と「エコリフォーム」の二種類。
「エコ住宅」は「エコ住宅の新築」と「完成済みの新築住宅」(完成購入タイプ)が対象。自ら居住するものが条件で、賃貸住宅の新築等は対象外となっている。

構造により基準が設けられており、「木造住宅」は、「一次エネルギー消費量等級4(平成25年基準)」などをクリアすることが求められている。

また、木造住宅以外の「一般住宅(すべての構造)」には、「一次エネルギー消費量等級5(平成25年基準)」と「低炭素基準相当が求められている」。

発行ポイントは工事の内容ごとに定められ、上限は30万円ポイントとなっている。
「窓の断熱改修」は内窓設置・外窓交換・ガラス交換が対象。それそれの大きさによる窓・枚当たりのポイント数が定められている。

「外壁・屋根・天井または床の断熱改修」は、「外壁」が12万円ポイント、「屋根・天井」が5万円6000ポイント、「床」が6万円ポイントとなっている。

また、「設備工」改修は、節水型トイレ、高断熱浴槽・太陽熱利用システム・高効率給湯器・節湯水栓のうちの対象だ。これらのうち3種類以上を設置する場合は単独の申請が可能で、3種類未満であれば「窓の断熱改修」か「外壁・屋根・天井または床の断熱改修」とあわせて行うことが求められている。「設備工」改修は対象設備によってポイントが異なり、3000~2万4000ポイントが発行される。

「エコリフォーム」では、これらの3つのいずれかを行った上で、あわせてバリアフリー改修やリフォーム瑕疵保険の加入、耐震改修を行うとポイントが加算される。

4月までの申請は3万円ポイント

「省エネ住宅エコポイント」は今年の3月10日に始まった。4月末までのポイント申請は「新築」が1万3760円、「リフォーム」が2万4090円の計3万7840円となった。
「住宅エコポイント」は平成22年3月からスタート。4月末までのポイント申請は「新築が2万760円、「リフォーム」が1万7813円であり、名称変更や内容の拡充が行われてきたものの、以前から続いている制度だけに「省エネ住宅ポイント」のスタートは上々の数字と見える。しかし、住宅産業界

からは「認知度が低い」との声が強い。
「住宅エコポイント」と「復興支援住宅エコポイント」は、住宅市場に大きなインパクトを与えた。両制度のポイント申請累計は、新築100万1717戸、リフォームが79万7694戸に及び、特に窓の断熱改修はこの制度によって大きく進んだといことも過言ではない。

これらの制度が実施されていた時期、メディアも大きく取り上げ、大きな注目を集めた。それだけに「省エネ住宅ポイント」のスタート前に前回同様、さらには前回以上の期待がかかっていたといえる必要があるが、ポイント発行額予算通りに達した場合は、その時点で制度が終了する。当初、早々に予算に達するのではという声も聞かれたほどだ。

こうした期待からすると、4月までのポイント発行申請の数字はけっして多いとはいえない。住宅産業界からは、まだまだ一般消費者に制度が知られていないという声が多く聞かれる。つまりアピール不足といってしまう。

今一般消費者にとって「省エネ」は強く響くキーワードの一つだ。さらに発行されたポイントは1ポイント1円で換算され、新築にしろリフォームにしろ加算しても上限30万円分がお得となるのである。また、商品券などの交換は、即時交換という制度も設けられ、工事を行う事業者が行う追加工事やクレードアップ工事の費用に充てることができる。消費者のメリットは大きい。
住宅事業者やリフォーム事業者はこの制度のPRをさらに徹底し、消費者に対してはさらなる魅力ある提案を進めれば、市場をさらに活性化することができるのではないだろうか。

(詳細は<http://www.nichiha.co.jp/jutaku-points/index.html>を参照)

省エネ住宅ポイントの対象

発行ポイント		発行ポイント	
エコ住宅	発行ポイント	外壁・屋根・天井または床の断熱改修	発行ポイント
一般住宅(すべての構造)	30万円ポイント	外壁	12万円ポイント
木造住宅		屋根・天井	3万6000ポイント
エコリフォーム		床	6万円ポイント
窓の断熱改修		設備エコ改修(下記の3種類以上)	
内窓設置	8000~2万円ポイント	節水型トイレ	2万4000ポイント
外窓交換	8000~2万円ポイント	高断熱浴槽	2万4000ポイント
ガラス交換	3000~8000ポイント	太陽熱利用システム	2万4000ポイント
		高効率給湯器	2万4000ポイント
		節湯水栓	3000ポイント
		耐震改修	15万円ポイント
		その他の工事など	発行ポイント
		バリアフリー改修	6000~3万円ポイント
		エコ住宅設備の設置(左記の内3種類未満)	3000~2万4000ポイント
		リフォーム瑕疵保険の加入	1万1000ポイント

省エネ住宅ポイント制度がスタート

※1 ※平成26年12月27日の臨時閣議決定より

一定の省エネ性能を有する住宅の新築やエコリフォームに対して、
様々な商品などと交換できるポイントです。

ニチハの対象商品

反射・排熱・断熱で屋根の日射熱を防ぐ

遮断ルーフGr
リフォーム用遮断ルーフGr

耐久性に優れ、断熱性能も抜群

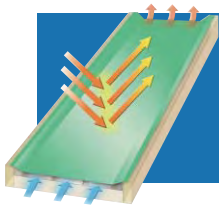
パネルα

床下からのすきま風を抑制して優れた断熱性を発揮

esパネル

屋根の遮熱&断熱革命

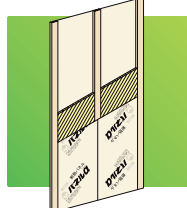
遮断ルーフGr



屋根の日射熱をおさえる遮断ルーフGrは、反射・排熱・断熱の3つの働きを一体化したトリプルストッップ構造。小屋里や天井の温度上昇を大幅におさえ、省エネやCO₂削減にも効果的です。

ニチハ断熱パネル

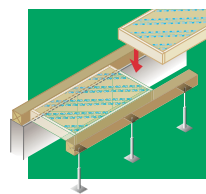
パネルα



ニチハ断熱パネル“パネルα”は、木枠フレームに硬質ウレタンフォームを充てん・発泡した“木枠付き断熱パネル”で、住宅の断熱性能を高め、暖冷房エネルギーの削減に貢献します。

寒い冬、暖房を強くしなくてもあたたかい。

esパネル



床からのすきま風をおさえることも冬の快適さの決め手。esパネルは、安定性のある硬質ウレタンフォームで床下の気密・断熱を高め、寒い冬、暖房を強くしなくても室内をあたたかく保ちます。

[耐震改修について]

現行の耐震基準※に適合していない住宅を現行の耐震基準※に適合させる工事が対象になります。耐震改修については他の補助制度併用可能な場合がありますので事前にご確認ください。

※現行の耐震基準とは ①建築基準法施工令第3章及び第5章の4に規定する基準
②耐震改修促進法に基づく「地震に対する安全上耐震関係規定」に準ずるものとして国土交通大臣が定める基準【平成18年国土交通省告示第185号】

ニチハ耐力面材「あんしん」により耐震基準を満たす工事が対象となります。

「窓の断熱改修」、「外壁・屋根・天井または床の断熱改修」、「設備工コ改修(3種類以上)」のいずれかと併せて実施する場合に対象となります。

【耐震改修工事】とは昭和56年5月31日以前に着工された住宅で現行の耐震基準に適合していないものについて、現行の耐震基準に適合させる工事のことを言います。

商品のお問い合わせ、ご相談は、最寄りの弊社営業所または下記お客さま相談室にご連絡ください。

【お客さま相談室】TEL(052)220-5125/FAX(052)220-5157 【受付時間】月～金 AM9:00～PM5:00(土・日・祝日・年末年始・お盆休みを除く)

編集後記

「世の中に何千万と建っている家の一つひとつに、作った人たちの仕事の痕がある。さらに、そこに暮らした人々の愛着もある。名前も知らない人たちだけど、その思いを読み取って未来につなげるのが僕の仕事。大変だと思ったことはないですよ。誕生から今に至るまで、人が紡いできた時間や思いは味わい深いし興味深い」……。青木先生は、化学的・物理的・現実的な計算もしながら、愛情豊かに愛敬たっぷりリファイニングに取り組んでいるお話を聞かせてくださいました。「この記事を読んで、青木先生に相談したいという方がいらっしやるかもしれません」「あ、どうぞどうぞ！ いつでも連絡ください」とのことでしたので、住宅再生に興味をお持ちの方は是非ご連絡を。(S)

小学生時代、いつも校庭にプレハブ校舎が建っていた。当時は、限られた校庭に児童がひしめき合い「狭くて嫌だな」と思っていたが、団塊ジュニア世代に対応するため、校舎を整備していたのだろう。あれから何十年経った今、母校の小学校にまた、プレハブ校舎が建っている。既存校舎の耐震補強や改修のためだ。全国の公立の小中学校の多くは、私が子どもの頃に整備され、築後30年以上が経過し、約6割の学校の老朽化が進んでいる。「山のようにあるんですよ。ストックの建物が。学校だけでもものすごい数です。補助金や制度を変えないとストックの活用は進みません」と青木先生。地域の防災拠点でもある学校の再生もまた、待たなしの状態なのだ。(T)

ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号 三井住友銀行名古屋ビル

TEL(052)220-5111

編集/ナビュ編集室

ホームページアドレス <http://www.nichiha.co.jp/>